

参考資料 1 - 1

第2期中期目標期間（H27～R1）における各年度の総合評価・大項目別の評価（抜粋）

区 分		平成27年度業務実績	平成28年度業務実績	平成29年度業務実績	平成30年度業務実績
評価者の評価 ※1	評価区分	評価なし	・総合・大項目：評価なし ・中項目 A：年度計画に対し十分に取り組み、成果も得られ、中期目標・中期計画の達成に向けて順調 B：年度計画に対し十分に取り組んでいるが、中期目標・中期計画の達成に向けては、成果が得られる具体的な取組が必要 C：年度計画に対する取組は十分ではなく、中期目標・中期計画の達成のためには、改善が必要	・総合（中期計画の達成状況） S：量・質で上回る、A：上回る、 B：概ね達成、C：下回り改善を要する、 D：下回り抜本的な改善が必要 ・大項目（中期計画の進捗） S：特筆すべき進捗、A：順調、 B：概ね順調、C：改善を要する、 D：抜本的な改善が必要	総合・大項目（対年度計画） S：大幅に上回る（120%以上） A：達成（100～120） B：下回る（80～100） C：大幅に下回り抜本的改善が必要（80未満）
	総合評価	評価なし ・年度計画について十分に取り組んでおり、医師の確保や地域医療の提供などで一定の成果 ・県民から求められる医療を確実に提供するとともに、地方独立行政法人にふさわしい経営基盤の確立に向け、着実に進んでいる	評価なし ・病院が担う医療機能の充実に向けた様々な取組を積極的に行っていることは評価 ・財務内容の改善は、機構発足以来最大の経常損失、費用削減の取組や給与制度等の見直しを行っているものの大幅に悪化	B：概ね中期計画の目標を達成 （参考）評価委員会の意見 ・職員給与費対営業収益比率等の指標について、ベンチマークにより比較・分析、着実に成果を出し数値目標を達成することが必要 ・評価結果が全職員に行き届くことが大切	評価実施中
	大項目1 医療の質の向上	評価なし ・医療の質の向上を図り、地域のニーズに応じた医療、高度専門医療を関係機関と連携し提供 ・機構内のみならず県内の医療人材の育成や県内医療水準の向上に向けた取組を進めた	評価なし ・中期計画の達成に向けて、概ね順調な進捗 ・引き続き、意欲的に取り組んでいる ・中項目の評価 A：4項目、B：0項目、C：0項目	B：中期計画の達成には概ね順調 ・小項目はいずれも年度計画を達成 ・一部の取組は年度計画を上回る	評価実施中
	大項目2 業務運営の改善・効率化	評価なし 中期計画達成に向けた様々な面からの取組が行われた	評価なし ・経営力の強化や経営改善の様々な取組がなされているが、給与費比率や病床利用率への取組に関しては、具体策が盛り込まれていない ・中項目の評価 A：1項目、B：1項目、C：0項目	B：中期計画の達成には概ね順調 ・「病床利用率の向上」以外は達成 ・経営改善プログラムの開始は上回って達成 ・全病院の病床利用率が目標を下回っており赤字決算の要因の一つ	評価実施中
	大項目3 財務内容の改善	評価なし 経常収支は平成26年度と比べると大きく改善し、2年ぶりの黒字を確保したものの、年度計画には及ばなかった	評価なし ・中期計画における経常収支等の年度目標と実績の乖離が更に拡大 ・中項目の評価なし	C：中期計画の達成には改善を要する ・前年度から大幅に改善したものの2年連続の損失を計上 ・資金収支について年度計画を下回る	評価実施中

区 分		平成27年度業務実績	平成28年度業務実績	平成29年度業務実績	平成30年度業務実績
自己評価	評価区分	個別の取組の評価（対年度計画） A：十分に取組み、成果も得ている B：十分に取組んでいる C：取組は十分ではない	個別の取組の評価（対年度計画） A：十分に取組み、成果も得ている B：十分に取組んでいる C：取組は十分ではない	・総合（中期計画の達成状況） S：量・質で上回る、A：上回る、 B：概ね達成、C：下回り改善を要する、 D：下回り抜本的な改善が必要 ・大項目（中期計画の進捗） S：特筆すべき進捗、A：順調、 B：概ね順調、C：改善を要する、 D：抜本的な改善が必要	総合・大項目（対年度計画） S：大幅に上回る（120%以上） A：達成（100～120） B：下回る（80～100） C：大幅に下回り抜本的改善が必要（80未満）
	総合評価	自己評価なし（※2）	自己評価なし（※2）	B：概ね中期計画の目標を達成	A：年度計画を達成 （中期計画の進捗状況） ・地域の医療需要や経営環境の変化に迅速に対応、中期計画を着実に推進 ・財務内容は、経常収支比率100%以上の維持は達成の見込。資金収支均衡は、実績が目標を下回っており改善を要する
	大項目1 医療の質の向上	自己評価なし（※2） 各取組の評価（対年度計画） A：312項目、B：30項目、C：0項目	自己評価なし（※2） 各取組の評価（対年度計画） A：316項目、B：14項目、C：0項目	B：中期計画の達成には概ね順調 ・医療機能を充実、地域医療や高度・専門医療について、関係機関と密接に連携し、安心で質の高い医療サービスを安定的に提供 ・県の政策的な医療を積極的に推進	A：年度計画を達成 ・医療機能を充実、地域医療や高度・専門医療について、関係機関と密接に連携し、安心で質の高い医療サービスを安定的に提供 ・中期計画の達成に向けて順調
	大項目2 業務運営の改善・効率化	自己評価なし（※2） 各取組の評価（対年度計画） A：122項目、B：11項目、C：0項目	自己評価なし（※2） 各取組の評価（対年度計画） A：119項目、B：12項目、C：0項目	B：中期計画の達成には概ね順調 ・様々な角度から業務運営の改善及び効率化を着実に実践	A：年度計画を達成 ・経営改善や働き方改革への対応など、経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応 ・中期計画の達成に向けて順調に取組み
	大項目3 財務内容の改善	自己評価なし（※2）	自己評価なし（※2）	C：中期計画の達成には改善を要する ・経常収支比率100%以上、資金収支均衡の達成は、目標を大幅に下回る厳しい財務状況 ・経営状況に改善の傾向が見られ、経常損失は前年度の半分程度	A：年度計画を達成 ・収益確保と経費削減の結果、計画を大幅に上回る改善 ・中期計画の累計で66百万円の経常損益 ・資金収支は、実績が目標を下回る

※1 評価者・・・平成28年度実績まで評価委員会、平成29年度実績から県

※2 平成27年度実績と平成28年度実績は、個別の取組について自己評価していたが、「大項目」や「総合」については自己評価していない。

参考資料 1 - 2

第2期中期目標期間における各年度の項目別評定

	H27	H28	H29	H30 ※
○ 総合評定	—	—	B	A
○ 大項目1 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	—	—	B	A
1 医療・介護サービスの提供体制改革を踏まえた地域医療、高度・専門医療の提供	—	A	—	—
(1) 地域医療の提供	—	—	—	A
ア 地域医療の提供（信州、阿南、木曾）	—	—	B	—
イ へき地医療の提供（阿南、木曾）	—	—	A	—
ウ 介護老人保健施設の運営	—	—	B	—
(2) 地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進	—	—	A	A
(3) 高度・専門医療の提供	—	—	—	A
ア 感染症医療の提供（信州）	—	—	B	—
イ 精神医療の提供（駒ヶ根）	—	—	B	—
ウ 高度小児医療、周産期医療の提供（こども）	—	—	A	—
エ がん診療機能の向上（信州、阿南、木曾、こども）	—	—	B	—
(4) 災害医療などの提供	—	—	A	A
(5) 医療におけるICT（情報通信技術）化の推進	—	—	B	A
2 地域における連携とネットワークの構築による医療機能の向上	—	A	—	—
(1) 地域の医療、保健、福祉関係機関などとの連携	—	—	—	A
ア 地域の医療機関との連携	—	—	B	—
イ 地域の医療機関への支援	—	—	A	—
ウ 地域の保健、福祉関係機関などとの連携の推進	—	—	B	—
(2) 5病院のネットワークを活用した診療協力体制の充実強化	—	—	B	A
3 人材の確保・育成と県内医療水準の向上への貢献	—	A	—	—
(1) 医療従事者の確保と育成	—	—	—	A
ア 積極的な医療従事者の確保	—	—	B	—
イ 研修体制の充実	—	—	A	—
ウ 医療技術の向上	—	—	B	—
(2) 県内医療に貢献する医師の育成と定着の支援	—	—	—	A
ア 信州型総合医の養成	—	—	B	—
イ 臨床研修医の受入れと育成	—	—	A	—
(3) 信州木曾看護専門学校での運営	—	—	A	A
(4) 県内医療水準の向上への貢献	—	—	—	A
ア 県内医療従事者を対象とした研修の実施	—	—	B	—
イ 医療関係教育機関などへの支援	—	—	B	—
(5) 医療に関する研究及び調査の推進	—	—	—	A
ア 研究機能の向上	—	—	B	—
イ 医療に関する臨床研究への参加	—	—	B	—
ウ 地域への情報発信による健康増進への取組	—	—	B	—
4 県民の視点に立った安全・安心な医療の提供	—	A	—	—
(1) より安全で信頼できる医療の提供	—	—	—	A
ア 医療安全対策の推進	—	—	B	—
イ 患者中心の医療の実践	—	—	B	—

ウ 適切な情報管理	—	—	B	—
エ 医療機器の計画的な更新・整備	—	—	B	—
(2) 患者サービスの一層の向上	—	—	—	A
ア 患者満足度の向上	—	—	B	—
イ 患者への診療情報の提供	—	—	B	—

○ 大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 — — B A

1 法人の力を最大限発揮する組織運営体制づくり	—	—	—	—
(1) 柔軟な組織・人事運営	—	—	B	A
(2) 仕事と子育ての両立など多様な働き方の支援	—	—	B	A
2 経営力の強化	—	A	—	—
(1) 病院経営に一体的に取り組むための職員意識の向上	—	—	A	A
(2) 経営部門の強化	—	—	B	A
3 経営改善の取組	—	B	—	—
(1) 年度計画と進捗管理	—	—	B	A
(2) 収益の確保と費用の抑制	—	—	A	A
(3) 情報発信と外部意見の反映	—	—	B	A
(4) 病床利用率の向上	—	—	B	B

○ 大項目3 財務内容の改善に関する事項 — — C A

1 経常黒字の維持	—	—	C	S
2 資金収支の均衡	—	—	C	B

※ 平成30年度のみ病院機構の自己評価の状況

○ 各年度の評定基準

平成27年度：なし

平成28年度（中項目）

A	年度計画に対し十分に取り組み、成果も得られており、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
B	年度計画に対し十分に取り組んでいるが、中期目標・中期計画の達成に向けては、成果が得られる具体的な取組が必要である。
C	年度計画に対する取組は十分ではなく、中期目標・中期計画の達成のためには、改善が必要である。

平成29年度（小項目）

S	年度計画を大幅に上回って達成している（120%以上）
A	年度計画を上回って達成している（110～120未満）
B	年度計画を達成している（100～110未満）
C	年度計画を下回っており改善を要する（60～100未満）
D	年度計画を大幅に下回っており抜本的な改善が必要である（60未満）

平成30年度（共通）

S	年度計画を大幅に上回って達成している（120%以上）
A	年度計画を達成している（100～120未満）
B	年度計画を下回っており改善を要する（80～100未満）
C	年度計画を大幅に下回っており抜本的な改善が必要である（80未満）